

令和5年度学校評価アンケート集計結果

4：思う 3：どちらかというと思う 2：どちらかというと思わない 1：思わない

※保護者回答について、「0：わからない」については数値平均集計には含まれていません。

| No | 質問内容 | 生徒 | | 保護者 | | 教職員 | | 三者平均 |
|----|--|------|------|------|------|------|------|------|
| | | R5 | R4 | R5 | R4 | R5 | R4 | R5 |
| 1 | 学校に楽しく通っている | 3.13 | 3.23 | 3.20 | 3.37 | 3.16 | 3.35 | 3.16 |
| 2 | 周囲の人たちにあいさつができる | 3.41 | 3.34 | 3.24 | 3.36 | 2.42 | 2.78 | 3.02 |
| 3 | 服装や身だしなみがしっかりしている | 3.43 | 3.46 | 3.48 | 3.58 | 3.11 | 3.22 | 3.34 |
| 4 | 学校は清掃が行き届いている (生徒:清掃や奉仕活動に積極的に取り組んでいる) | 3.35 | 3.35 | 3.23 | 3.24 | 2.79 | 3.13 | 3.12 |
| 5 | 時間を守って行動している | 3.32 | 3.27 | - | - | 2.89 | 2.96 | 3.11 |
| 6 | 友達と仲良く協力して生活している | 3.50 | 3.57 | 3.26 | 3.32 | 2.95 | 3.09 | 3.24 |
| 7 | 学校の勉強はよくわかる | 2.88 | 3.02 | 2.85 | 2.88 | 2.84 | 3.00 | 2.86 |
| 8 | 教職員は学習指導に力を入れ、学力向上に努めている。 (生徒:先生は授業を工夫し、わかりやすく教えてくれる) | 3.32 | 3.37 | 3.02 | 3.07 | 3.26 | 3.41 | 3.20 |
| 9 | 進んで自分の考えやわかったことを発表している | 2.43 | 2.46 | - | - | 2.37 | 2.52 | 2.40 |
| 10 | 家庭学習への取組が十分できた | 2.58 | 2.69 | 2.49 | 2.55 | 2.29 | 2.40 | 2.45 |
| 11 | 健康に留意し、体力向上に努めている | 3.03 | 2.92 | 3.04 | 3.06 | 3.06 | 3.05 | 3.04 |
| 12 | 教職員は生徒の話を聞き、理解しようと努めている。 (生徒:先生はあなたの話をよく聞いてくれる) | 3.22 | 3.25 | 3.07 | 3.24 | 3.47 | 3.59 | 3.25 |
| 13 | 学校行事・学年行事に積極的に取り組んだ | 3.49 | 3.43 | 3.38 | 3.40 | 3.53 | 3.43 | 3.47 |
| 14 | 学校の出来事を家庭で話す | 3.01 | 2.95 | 2.93 | 3.06 | - | - | 2.97 |
| 15 | 学校の教育活動に特色を感じる | 2.72 | 2.67 | 2.29 | 2.47 | 2.68 | 2.57 | 2.56 |
| 16 | 学校は地域や家庭との連携に積極的に取り組んでいる | - | - | 2.90 | 2.90 | 3.11 | 2.86 | 3.01 |
| 17 | 学校は日頃から安全や事故防止に努めている (生徒:安全や事項防止に気をつけて生活できた) | 3.50 | 3.57 | 3.14 | 3.23 | 3.37 | 3.35 | 3.34 |
| 18 | 学校だよりや学年だよりを読んでいる | 2.57 | 2.68 | 3.47 | 3.54 | 3.26 | 3.30 | 3.10 |
| 19 | 学校の感染症予防に関する取組は適切である。 (生徒:感染症予防を心がけた) | 3.34 | 3.2 | 3.24 | 3.31 | 3.53 | 3.52 | 3.37 |

<学校評価アンケートの分析>

本校は、今年度より学校教育目標を「自ら考え、自ら学び、正しく判断して、たくましく行動できる生徒の育成」に変更し、「生徒自身が主体的に考える場面を増やすこと」に重点を置いた教育活動を進めてまいりました。その結果、アンケートでは多くの質問に対して回答平均値が「3」を超えることとなりました。特に、「No. 13 行事に積極的に取り組んだか」「No. 15 教育活動に特色を感じるか」という質問に対しては、生徒および教職員による肯定的回答率が前年度よりも微増しており、前向きに学習や諸活動に取り組めたことがわかりました。併せて、「No. 19 感染症予防を心がけたか」という質問に対しても、生徒の回答平均値が前年度よりも増加しました。新型コロナウイルス感染症への対策が緩和され始めた生活の中で、「活動の充実」と「安心・安全」とを両立できるよう、生徒たちは工夫して取り組むことができました。また、本校のスローガンである「日本一心あたたまる『みそあじ』の学校」に関連する質問に対して、「み：身支度 (No. 3 身だしなみがしっかりしているか)」「そ：掃除 (No. 4 清掃や奉仕活動に積極的に取り組んでいるか)」「あ：あいさつ (No. 2 周囲の人たちに挨拶ができるか)」「じ：時間 (No. 5 時間を守って生活しているか)」についても、三者の回答平均値は「3」を超えており、生徒たちは落ち着いた環境の中で生活している様子が見えられます。特に「あいさつ」に関しては、生徒の回答平均値が前年度と比べて増加しており、意識の向上が見られました。

一方で、「No. 7 勉強はよくわかるか」という質問に対する回答平均値は、前年度よりも減少しています。

「No. 8 先生は授業を工夫しているか」という質問に対する生徒および教職員の回答平均値は「3」を上回っているものの、学習内容を定着させるためには更なる工夫が必要です。各授業において、その時間の学習目標を明確に示したり、他教科および日常との関連について考えさせたりするなどの指導を通して、学習内容の定着および学力の向上を目指していきます。また、課題に対して「個人で考える場面」と「他者と協働する場面」とのバランスを大切に、学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に近づけていきます。さらに、「No. 10 家庭学習の取組」についても、昨年度に続いて大きな課題の1つです。全国学力・学習状況調査では、千葉市は「自分で計画を立てて勉強をしている」児童生徒の割合が全国平均よりも低くなっており、本校も例外ではありません。他者から一方的に教わるだけでなく、自ら課題や目標を設定し、それらを達成するための計画を立て、必要に応じて計画を見直しながら学習に取り組む態度を身に付けられるよう、粘り強く指導を続けていきます。

最後に、各項目とも、学年が上がるごとに肯定的回答率が高くなっていく傾向が見られました。義務教育9年間の生活を通して、たくましく成長していることの表れであると考えます。小学校との連携をさらに強めることが、一層の成長に繋がると考えます。

アンケートの結果を真摯に受け止め、今後の教育活動の更なる充実に努めて参ります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。